

第2回 自動車リサイクル会議 開会挨拶

公益財団法人 自動車リサイクル促進センター
2023年12月13日

JARC 自動車リサイクル長期ビジョン



自動車リサイクルの将来課題とリサイクル会議テーマ

■自動車リサイクルの現状と課題

- ・自動車リサイクル法の下で、高いリサイクル率を安定して達成している
- ・天然資源、廃車台数の制約がある中、自動車産業の動脈、静脈が共に発展する為、再生材の価値を向上し、より価値の高い資源として活用していく取組が必要
- ・EU法規制等、グローバルな法規制に対応できる様、再生材安定供給のスキームが求められる

■第1回自動車リサイクル会議での反響

- ・自動車リサイクルの動向、海外の法令施行状況などを展開していただきたい
- ・自動車リサイクルにおける各事業者の付加価値向上に向けた取組みについて知りたい
- ・自動車リサイクルシステム大改修の検討内容や展望などをより詳しく知りたい

■第2回自動車リサイクル会議の テーマ

- ・自動車リサイクルの目指すべき姿
EU使用済み自動車規則最新動向
- ・自動車リサイクルの再生資源の付加価値向上に向けた事業者の取組
- ・自動車リサイクルシステム大改造の最新情報

パネルディスカッション:再生資源の価値向上の 現在地とこれから

自動車リサイクル会議の目的と今後の方向性

① 自動車リサイクル会議の目的

- ・再生材の価値向上に向けた情報共有の場を提供する
- ・リサイクルスキームのパートナーシップ化を促進する
- ・自動車リサイクルに係る協働・研究分野の裾野拡大

② 類似企画との差別化の方向性

- ・展示会、ポスターセッション、ワークショップ
- 勉強会の実施 ~ タイムリーな展開

③ 中長期的な自動車リサイクル会議の意義・役割

リサイクルには動脈静脈のつながりと協業が必要
リサイクルスキームのパートナーシップ化

Step1 母集団形成

継続的な情報交換を希望する関係者に交流機会を提供・特定課題に関心のある層をグループ化

Step2 グループ形成

JARC(の取組)を広く周知し、今後の連携に向けた契機を提供
⇒ネットワーク構築に向けた関係者増加

Step3 協働推進

関係者の協力関係の維持・発展や協働・研究のためのマッチング機会提供⇒自発的に資源投入する参加者を育成

グループスキーム 勉強会実施

個別委員会・WGの実施

実行性を考慮した
本年度のポイント

ディスカッションと交流会 ~ 垣根を超えたネットワークの形成

講演会~有識者の先生・産業界の方(将来的には自動車分野の枠を超えた方々をお招きする)

2022~

2024~

2026~

(注)時間軸は一例